

短期大学生の言葉に関する意識  
—アンケート調査結果の分析を中心に—  
皆川 晶

On the verbal responses in communication by college students  
— On the analysis of questionnaire made in the college campus —  
Aki Minagawa

### Abstract

We make a research on the verbal responses in communication to grasp the actual verbal consciousness of college students. Especially concerning verbal usage and honorific words, we study the substance of verbal phenomenon.

From the research, those students who think verbal usage important in communication amounts to 98%, and those who think people give quite different impressions by the use of verbal usage amounts to 98%. On the result of the research, we have observed many problems of Japanese language education.

Keywords : Polite language, Attitude survey, Honorific word, College education

### 1、はじめに

日本語を使って生活しているわたしたちにとって、また現代社会において、言葉遣いや敬語を間違えないように使用するのは、必要不可欠である。が、それを使いこなすことは困難でもある。

文部科学省の「現代社会における敬意表現（答申）（抄）」では、「敬意表現の習得は、家庭、社会、学校や、毎日のように接するマスメディアといった敬意表現の使われている環境の中で意識的あるいは無意識的に行われている。これらはいずれも敬意表現習得にかかる場としてとらえることができる。一人一人が周りの敬意表現を内省しつつ、日々言語感覚を磨くことによって豊かな敬意表現を身に付けることができるものである。」<sup>1)</sup>と記されている。

しかし、現実的に家庭、社会、学校やマスメディアを通して習得できているだろうか。家庭の中で言葉の教育をするのが理想であるが、それも毎日の忙しい生活に追われる中で、十分な言語教育を家庭に求めるのは難しいであろう。社会で身につけるといえども、学生にとってのこれまでの環境では、社会との関わりは少なかったはずである。大学生になって初めてアルバイトを始めた学生も多い。そのアルバイトを通して、敬語という言葉の壁にあたり、言葉遣い・敬語の重要性や必要性に気付くのである。学生は、「学生生活の中で、正しい言葉遣い、敬語とは何かを指南してくれる何らかの機会がなく、何かしら疑問や違和感を抱きながらとりあえず使用し、その結果、自信をもってそれらを運用する能力が身

につかないままに焦燥の意識だけが高まっていく、という悪循環を生じ」<sup>2)</sup> ているのである。

そこで、本稿では、言葉遣いや敬語に関する意識調査を実施し、近畿大学九州短期大学生の言葉に関する意識や実態を分析することで、現在の短期大学生の言葉遣いや敬語の意識はどのようなものかを明らかにしていこうとするものである。さらにその実態を踏まえて、短期大学での日本語教育の課題について考察する。

## 2、調査にあたって

### ①調査目的および調査日

短期大学生が言葉遣いや敬語に関して、どのような意識を持っているのかを見るために、2014年7月上旬にアンケート調査をした。

### ②調査協力者

調査協力者は、近畿大学九州短期大学「国語表現法」、「日本語コミュニケーションI」を受講している1年生（男子学生11名、女子学生88名）の計99名である。

### ③調査内容

#### [調査項目]

- (1) 大学生になって、あなた自身、言葉遣いに関して何か変化がありますか。
- (2) あなたは普段、友人と話すときに気を付けていることがありますか。
- (3) (2)で「ある」と答えた人は、どんなことに気を付けていますか。
- (4) 先生や目上の人と話すときに気を付けていることがありますか。
- (5) (4)で「ある」と答えた人は、どんなことに気を付けていますか。
- (6) 授業中に知らない言葉が出てきたら、あなたはどうしますか。
- (7) あなたが新しい言葉や表現を知る、もしくは取り入れる媒体は何ですか。
- (8) 先生や目上の人と話すとき、敬語を使いますか。
- (9) あなたは敬語をうまく使っていると思いますか。
- (10) 敬語を上手に使えるようになりたいと思いますか。
- (11) (10)で「はい」と答えた人は、理由を教えてください。
- (12) (10)で「いいえ」と答えた人は、理由を教えてください。
- (13) 今後のことを考えると、敬語は必要だと思いますか。
- (14) (13)で「必要」と答えた人は、理由を教えてください。
- (15) (13)で「必要ではない」と答えた人は、理由を教えてください。
- (16) 自分の言葉遣いは丁寧だと思いますか、荒っぽいと思いますか。
- (17) (16)で「どちらでもない」と答えた人は、理由を教えてください。
- (18) (16)で「荒っぽい」と答えた人は、理由を教えてください。

- (19) (16) で「丁寧」と答えた人は、理由を教えてください。
- (20) 言葉遣いで改めたいと思うことはありますか。
- (21) (20) で「ある」と答えた人は、理由を教えてください。
- (22) (20) で「ない」と答えた人は、理由を教えてください。
- (23) 言葉遣いで人の印象は変わるとと思いますか
- (24) (23) で「思う」と答えた人は、理由を教えてください。
- (25) 人とコミュニケーションをとるにあたって、言葉遣いは大切だと思いますか。
- (26) (25) で「大切」と答えた人は、理由を教えてください。
- (27) (25) で「大切ではない」と答えた人は、理由を教えてください。

### 3、調査結果

調査の結果は、回答の多い順に記載する。質問によっては複数回答もある。ただし、集計にあたって、部分的な無回答があり、それを除外したため、集計対象人数は質問ごとに若干変動している。理由など記述での回答は、調査票に記述されたままを記載している。

(1) 大学生になって、あなた自身、言葉遣いに関して何か変化がありますか。

	男子学生	女子学生
特に意識していない	5	4 9
何も変わらない	3	1 9
相手のことを気遣って話すようになった	3	1 2
丁寧な言葉を使うようになった	2	4
方言を使わないようになった	0	3
友人の方言がうつった	0	2
目上の人には敬語を使うようになった	0	1

(2) あなたは普段、友人と話すときに気を付けていますか。

	男子学生	女子学生
ある	9	4 1
ない	2	4 7

(3) (2) で「ある」と答えた人は、どんなことに気を付けていますか。

	男子学生	女子学生
相手を傷つけない	4	2 8
明るくする	4	1 0
節度を保つ	1	5
親しみを込める	1	2

相手のことを考える	1	0
正直に言う	0	1
目を見てちゃんと聞く	0	1
目を見て話す	0	1

(4) 先生や目上の人と話すときに気を付けていることがありますか。

	男子学生	女子学生
ある	1 1	8 2
ない	0	6

(5) (4) で「ある」と答えた人は、どんなことに気を付けていますか。

	男子学生	女子学生
敬語を使う	1 0	6 7
失礼にならないように	4	3 0
明るくする	0	9
親しみを込める	1	6
方言を使わない	0	7
節度を保つ	1	3
一人称を「私」にする	0	1

(6) 授業中に知らない言葉が出てきたら、あなたはどうしますか。

	男子学生	女子学生
友人に聞く	3	3 5
そのまま聞き流す	5	2 6
先生に聞く	5	2 2
授業後、インターネットで調べる	2	1 2
授業後、辞書で調べる	1	3

(7) あなたが新しい言葉や表現を知る、もしくは取り入れる媒体は何ですか。

	男子学生	女子学生
テレビ	5	5 0
インターネット	6	4 0
友人	5	4 0
メール	0	1 4

本・小説	2	3
ラジオ	1	3
電子辞書	1	0
家族	0	1

(8) 先生や目上の人と話すとき、敬語を使いますか。

	男子学生	女子学生
はい	1 1	8 5
いいえ	0	3

(9) あなたは敬語をうまく使っていると思いますか。

	男子学生	女子学生
いいえ	9	6 6
はい	2	2 0
回答なし	0	2

(10) 敬語を上手に使えるようになりたいと思いますか。

	男子学生	女子学生
はい	1 1	8 1
いいえ	0	6
回答なし	0	1

(11) (10) で「はい」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
社会に出たら必要だから	1	1 2
社会に出て恥ずかしくないように	1	7
社会に出て役に立つから	2	4
社会に出たら大事だから	1	5
失礼にならないように	0	5
相手に失礼な印象を与えたくないから	1	4
きちんとした言葉遣いができないといけないから	2	2
将来のため	0	4
社会に出たときに困るから	0	3
礼儀だから	0	3
目上の人には必ず敬語を使いたいから	0	3

敬語は使えた方がいいから	0	3
社会に出て失敗しないように	1	1
大人になるから	0	2
常識だから	0	2
社会に出ると当たり前のことだから	0	2
就職活動のときに役立つから	0	2
敬語の使い方を間違えると恥ずかしいから	0	2
間違った表現をして相手に不快な思いをさせたくないから	0	2
上手に自然に伝えられるようになりたいから	0	2
社会人になる前に使えるようになりたいから	0	1
敬語を正しく使って損はしないから	0	1
ふとしたときに敬語が言えるようになりたいから	0	1
社会に出て変な日本語を使いたくないから	0	1
一生使うから	0	1
このまま過ごしたら大変になりそうだから	0	1
上下関係をうまく保つため	0	1
他の人と差をつけられるから	0	1
第一印象が良くなるから	1	0
丁寧な言葉遣いをしていると品があるよう見えるから	0	1
ちゃんとした人に見られるように	0	1
気に入られるため	0	1
なんとなく	0	1

(12) (10) で「いいえ」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
話せているから	0	1
先生には敬語だが、年上には「タメ語」を混ぜながら話した方が仲良くなれるから	0	1

(13) 今後のことを考えると、敬語は必要だと思いますか。

	男子学生	女子学生
必要	1 1	8 6
必要ではない	0	2

(14) (13) で「必要」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
社会に出る以上、敬語は必要になるから	2	2 3
目上の人には敬語を使わないといけないから	0	6
相手を不快な気持ちにしたくないから	0	5
社会に出たときに困らないため	0	4
失礼にならないように	1	3
将来のため	0	4
礼儀だから	1	2
社会に出て役に立つから	1	2
社会に出て恥をかくから	1	2
社会人になるから	0	3
上下関係をうまく保つため	0	3
人と関わる仕事に就きたいから	0	3
働くうえで大事だから	1	2
常識だから	0	2
年上の人とうまくやっていくため	0	2
目上の人と話さないといけないから	1	1
就職のときに役立つから	0	2
社会に出て失敗しないように	0	1
就職をしなければならないから	0	1
大人になるから	0	1
社会人として使えないとおかしいから	0	1
社会をうまく生き抜くため	0	1
社会に出るといろいろな人に会うから	0	1
職場ではきれいな言葉遣いを必要とするから	0	1
印象を良く見せるため	0	1
丁寧な方がいいから	0	1
よく使うから	0	1
一生使うから	0	1
年上にタメ口は使わない	0	1
なんとなく	0	1

(15) (13) で「必要ではない」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
敬語はある程度話せたらいいから	0	1

(16) 自分の言葉遣いは丁寧だと思いますか、荒っぽいと思いますか。

	男子学生	女子学生
どちらでもない	7	4 8
荒っぽい	2	3 7
丁寧	2	3

(17) (16) で「どちらでもない」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
自分ではよくわからないから	1	4
気にしてないから	0	4
丁寧といえるほどの話し方ではないから	1	1
友人に話すときは、言葉遣いが少々悪くなるから	0	2
丁寧なときと丁寧でないときがあるから	0	1
人によって使い分けているから	0	1
敬語をうまく使えないから	0	1
荒っぽいとも丁寧とも思わないから	0	1
丁寧ではないから	0	1
言い方がきついと言われるときがあるから	0	1
怒ったときや不機嫌なときは、すごく汚い言葉を使ってしまうから	0	1
方言を使っているから	0	1
なんとなく	0	1

(18) (16) で「荒っぽい」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
言葉遣いが悪いから	0	6
方言がきついから	1	4
言葉が乱暴だから	0	3
言葉が汚いと言われるから	0	3
感情そのままの言葉を使ってしまうから	0	2
暴言を吐くから	0	2
口調が強いから	0	2
方言を使うから	0	2
適当に話すことが多いから	0	2

普段使う言葉と敬語が混ざっているから	1	0
言葉がきれいではないから	0	1
こわいと言われるから	0	1
イライラしたら言葉が荒くなるから	0	1
人を傷つけてしまうことがあるから	0	1
ラフな気分で言葉を選んでしまうから	0	1
「おまえ」と言うから	0	1
男言葉の友達がいるから	0	1
友達に男子が多いから	0	1

(19) (16) で「丁寧」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
年上の人と話すときは敬語だから	0	1
ある程度、言葉遣いはしっかりとできていると思うから	1	0
間違った敬語を使わないように気をつけているから	0	1
話し方がゆっくりで、人が傷つくことは言わないように心掛けているから	0	1

(20) 言葉遣いで改めたいと思うことはありますか。

	男子学生	女子学生
ある	5	6 6
ない	6	2 2

(21) (20) で「ある」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
方言が多いから	1	8
敬語がうまく使えないから	0	9
正しい言葉を使えるようになりたい	1	4
言葉遣いが悪いから	0	4
目上の人に対する言葉	0	3
相手に失礼のないように気をつけたい	0	3
汚い言葉を使ってしまう	0	3
強い口調になってしまふ	1	2
相手を傷つけない言葉遣いをしたい	0	2
丁寧になりたい	0	2

語彙力をつけたい	0	2
きれいな言葉を使いたい	0	1
口調をやわらかくしたい	0	1
きつい言葉を言わないようにしたい	0	1
大人な言葉を使いたい	0	1
女子だから	0	1
社会人になったときに困るから	0	1
意味のわからない文を話したりするから	0	1
理解されないときがあるから	1	0
話しあじめに「あっ」とつけてしまうから	0	1
「おまえ」と言わないようにしたい	0	1
残酷な言葉を使うことがあるから	0	1
言葉がトゲトゲしているから	0	1
方言が汚いと言われるから	0	1

(22) (20) で「ない」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
気にしてないから	1	1
特に気になるところはないから	1	0
しっかり使っているから	1	0
きちんと敬語を使っていると思うから	0	1
どこが間違っているかわからないから	1	0
自分らしくいたいから	0	1
今はいい	0	1
なんとなく	0	1

(23) 言葉遣いで人の印象は変わると思いますか。

	男子学生	女子学生
思う	1 1	8 8
思わない	0	0

(24) (23) で「思う」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
丁寧な言葉を使う人は、印象がとても良くなるから	2	8
言葉遣いによって第一印象が変わるから	1	5

丁寧な口調で話せばやさしい感じになるし、乱暴な話し方をすれば乱暴な感じがするから	1	4
話し方で性格もわかるから	0	4
言葉遣いがいいと、礼儀をわかっている人だと思うから	0	3
荒っぽいとこわく見えるから	0	3
第一印象が大切だから	0	2
話し方で印象が変わるから	1	1
言葉遣いが荒いと悪いイメージをもつから	0	2
言葉が汚いと印象が悪くなると思うから	0	2
なんとなく	0	2
敬語を使うと印象がいいから	0	1
敬語を使うとしっかりとしているというイメージがあるから	0	1
言葉遣いが丁寧な方が、その人の人格がわかるから	0	1
言葉遣いは良い方が良い	0	1
言葉遣いの影響は大きいと思うから	0	1
優しい言葉の人は優しく感じるから	0	1
かわいい方言の人は得をしているから	0	1
方言によって人の見え方は変わる	0	1
気をつけねば少しばわると思う	0	1
イントネーションで変わる	0	1
印象が悪く見えたり、良く見えたりするから	0	1
雑な言葉遣いで相手に悪い印象を与えてしまったり、傷つけてしまい、そこからの関係にも亀裂を入れてしまう可能性があるから	0	1
一つの失言で人から見られる目が変わるから	1	0
初対面でタメ口だと失礼だから	0	1
怒っているか、そうでないかがわかる	1	0
うまく使わないとばかり見える	0	1
話し方がこわいと次から話したくなくなるから	0	1
言葉遣いが悪いと品がなさそうに見えるから	0	1
きれいにしている人でも、言葉が汚かったら好印象ではなくなる	0	1
仲が良くて年上には敬語を使うべき	0	1
話すことは大切	0	1
声の高さでわかる	0	1
敬語を使っているだけで、常識のある人だと感じるから	0	1
丁寧な言葉だと話していて気分がいいから	0	1

言葉の使い方でかわいらしくなるから	0	1
言葉がきれいな方が印象がよいから	0	1
話し方でその人の人柄や育ちがわかるから	0	1
言葉遣いがきちんとしている人は、他のこともきちんとしている ように感じるから	0	1
品格が言葉と態度ではかられると思うから	0	1

(25) 人とコミュニケーションをとるにあたって、言葉遣いは大切だと思いますか。

	男子学生	女子学生
大切	11	86
大切ではない	0	2

(26) (25) で「大切」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
使い方を間違って、相手を傷つけてはいけないから	2	6
言葉にしないと相手には伝わらないから	1	6
言葉遣いでその人の印象が変わるから	1	4
相手によって言葉の使い分けは大切だから	1	4
相手を嫌な気持ちにさせないため	0	4
仲良くなるため	0	4
言葉遣いが荒っぽいと印象が悪くなるから	0	3
相手に好印象を与えるから	1	1
失礼にならないように	0	2
言葉は大切	0	2
言葉遣いが悪いと仲良くなりたくない	0	2
言葉遣い次第で関係も崩れてしまうから	0	1
言葉遣いが悪いとけんかにもつながりそうだから	1	0
きつい言葉では傷つけるから	0	1
言葉遣いによって見る目が変わるものから	0	1
言葉遣いによって対応が変わるものから	0	1
今後の関わり方が決まるから	0	1
言葉遣いによって伝わり方が変わってくるから	0	1
言葉遣いの中に、気を使っているかがわかるから	0	1
相手の感情を知ることができるから	0	1
声のトーンで伝わり方が変わるものから	0	1

言葉はきれいな方が聞き取りやすいから	0	1
正しい言葉遣いをすれば、良い印象をもってもらえるから	0	1
丁寧な言葉遣いの方がよいかから	0	1
優しい言葉遣いをしなくてはいけない	1	1
コミュニケーションの多くは話すことだから	0	1
方言は伝わらないので、標準語を使う	0	1
大切だけどあまり気にしてたくない	1	0
ある程度親しみやすい方がいい	0	1
常識だから	0	1
礼儀だから	0	1
将来のため	0	1
社会でも大切だから	0	1
なんとなく	0	1

(27) (25) で「大切ではない」と答えた人は、理由を教えてください。

理由	男子学生	女子学生
話すことに壁なんてないと思うから	0	1

#### 4. 調査から見えてきたもの

(1) 大学生になって、あなた自身、言葉遣いに関して何か変化がありますか。

男子学生の8人、女子学生の68人が「特に意識していない」「何も変わらない」と答えた。「相手のことを気遣って話すようになった」のは、男子学生が3人、女子学生が12人と少なかった。調査対象者は4月に大学という、新しい環境の中に入ったばかりなので、言葉遣いには気をつけているだろうと予想をしていたが、7割以上の学生たちは特に意識していないことがわかった。

(2) あなたは普段、友人と話すときに気を付けていますか。

気を付けていることが「ある」と答えたのは、男子学生81.8%、女子学生46.6%であり、「ない」と答えたのは、男子学生18.2%、女子学生53.4%であった。「気を付けていることがある」という男子学生は約82%と多かったが、女子学生の約53%が「気を付けていることがない」と答え、性差が顕著に表れた。

(3) (2) で「ある」と答えた人は、どんなことに気を付けていますか。

男子学生が4人、女子学生の28人が「相手を傷つけない」と答えた。さらに、「節度を保つ」と答えた男子学生は1人、女子学生は5人で、「相手のことを考える」「目を見てちゃんと聞く」「目を見て話す」など、友人に対する心遣いが表れている。このことか

ら、気を許した友人に対しても、相手への配慮をしながら会話をしていることがわかつた。

(4) 先生や目上の人と話すときに気を付けていますか。

「ある」と答えた男子学生は 100%、女子学生は 93%であり、ほとんどの学生が先生や目上の人と話すときは、何らかの心配りをしていることがわかつた。(2) の質問では、「友人と話すときに気を付けていることがある」と答えたのが、女子学生の 47%であり、約 2 倍の 93%の女子学生が友人に対してよりも、先生や目上の人に対しての配慮を心掛けていることがわかつた。

(5) (4) で「ある」と答えた人は、どんなことに気を付けていますか。

「敬語を使う」と答えた男子学生が 10 人、女子学生が 67 人と多くの学生が敬語の使用を意識していることがわかつた。また、「失礼にならないように」と答えた男子学生が 4 人、女子学生が 30 人であった。

(2) の質問での友人に対しては、「相手を傷つけない」「明るくする」「親しみを込める」ことに気を付けているという理由が多かった。先生や目上の人に対しては「敬語を使う」「失礼にならないように」「方言を使わない」「一人称を『私』にする」など、敬語を使わなければならぬ、節度をわきまえなければならないという、目上の人に対する礼儀の気持ちを心得ていることがわかつた。

(6) 授業中に知らない言葉が出てきたら、あなたはどうしますか。

「友人に聞く」が男子学生 3 人、女子学生が 35 人と多かつた。さらに、「先生」に聞くと答えた学生を合わせると、男子学生は 8 人、女子学生は 57 人であった。自主的に「インターネット」や「辞書」で調べると答えた学生は、男子学生の 3 人、女子学生の 15 人であった。また、「聞き流す」と答えた男子学生は 5 人、女子学生は 26 人であった。

このことから、男女ともに約 7 割の学生は、他者に聞いたり、自分で調べたりと、わからない言葉をそのまま放置せずに、積極的に知ろうとする態度がみえる。意欲的に授業に臨んでいることが窺われる。

(7) あなたが新しい言葉や表現を知る、もしくは取り入れる媒体は何ですか。

「テレビ」は男子学生の 5 人、女子学生の 50 人が、「インターネット」は男子学生が 6 人、女子学生が 40 人であり、「友人」は男子学生の 5 人、女子学生の 40 人で、「本・小説」と答えたのは、男子学生が 2 人、女子学生が 3 人であった。

今回の調査協力者が入学した直後の 2014 年 4 月上旬にとったアンケート調査では、「読書をしますか」の質問に、「はい」は 29%、「いいえ」は 71% であり、読書をする学生は 3 割程度であった。「読書をする」と答えた学生にどれくらいの頻度で読むかを尋ねたら、

「1カ月に1冊」が28%、「1カ月に2～3冊」が21%、「2・3カ月に1冊」が15%、「1年に2～3冊」が15%、「1カ月に20～30冊」が9%、「1週間に2冊」が9%、無回答が3%であった。読書をする学生の中には、1カ月に1冊以上読む学生は67%もいた。しかし、全体からみると、1カ月に1冊以上の本を読んでいるのは、19.6%の学生しかいないことがわかった。この結果から、言葉や表現を知る媒体に「本・小説」と答えたのは、男子学生が2人、女子学生が3人と少ないので当然であるといえよう。

学生たちはパソコンや携帯電話に向かっている時間が長いので、「インターネット」から取り入れると答えた学生は多かったが、「メール」と答えたのは、男子学生が0人、女子学生が14人と少ないので、予想外であった。友人とのメールのやりとりで、新しい言葉や表現を知るのであろうと見込んでいたからである。また、パソコンや携帯電話の依存から、最近の大学生はテレビをあまり見ないと予想していたが、一番多かった媒体が「テレビ」であったのも、予想外であった。

(8) 先生や目上の人と話すとき、敬語を使いますか。

「はい」は男子学生が全員、女子学生は96.6%であった。ほとんどの学生が敬語を使っていると答えた。大学生になりアルバイトをしている学生も多く、敬語に接する機会も増え、敬語を意識させられる社会生活の場面に多く接することが影響していると推測される。

(9) あなたは敬語をうまく使っていると思いますか。

「いいえ」の男子学生が82%、女子学生が75%であった。(8)の質問では、「先生や目上の人へ敬語を使う」とほとんどの学生が答えたが、うまく使っているかというと、自信がないようである。

(10) 敬語を上手に使えるようになりたいと思いますか。

「敬語を上手に使えるようになりたい」という男子学生は全員、女子学生は92%であった。上記の質問(8)(9)と関連して考えると、敬語を使ってはいるが、うまく使っているとは思っていない。だからこそ、上手に使えるようになりたい、と思う学生が多いと推測される。本学は短期大学なので、1年生であってもすぐに就職のことを考えなければならない。先輩たちの就職活動を見ながら、また、自身のアルバイトでの経験から、敬語の必要性、使い方の難しさを感じているのであろう。

(11) (10)で「はい」と答えた人は、理由を教えてください。

「将来のため」「社会に出たら必要だから」「社会に出て恥ずかしくないように」「社会に出て役に立つから」「社会に出たら大事だから」「社会に出たときに困るから」「社会に出て失敗しないように」「社会に出ると当たり前のことだから」「社会に出て変な日本語を使いたくないから」などと、敬語を使わなければ社会人になると困るという考え方の男子学生が6

人、女子学生が 39 人いた。

「きちんとした言葉遣いができないといけないから」「目上の人には必ず敬語を使いたいから」「敬語は使えた方がいいから」「礼儀だから」「常識だから」など、敬語の必要性を感じているのが、男子学生は 2 人、女子学生は 13 人いた。

「失礼にならないように」「相手に失礼な印象を与えたくないから」「間違った表現をして相手に不快な思いをさせたくないから」と、相手への心遣いから上手に使いたいと思っている男子学生は 1 人、女子学生は 11 人いた。

「敬語の使い方を間違えると恥ずかしいから」「上手に自然に伝えられるようになりたいから」「敬語を正しく使って損はしないから」「ふとしたときに敬語が言えるようになりたいから」という理由では、男子学生は 0 人だったが、女子学生の 6 人は、たしなみとして敬語を上手に使えるようになりたいと思っている。

また、「他の人と差をつけられるから」「第一印象が良くなるから」「丁寧な言葉遣いをしていると品があるように見えるから」「ちゃんとした人に見られるように」と、敬語がうまく使えることによって、内面だけでなく外見、人としての見られ方が違うと考えている男子学生は 1 人、女子学生は 3 人いた。

(12) (10) で「いいえ」と答えた人は、理由を教えてください。

「先生には敬語だが、年上には『タメ語』を混ぜながら話した方が仲良くなれるから」という女子学生が 1 人。ここでいう「年上」とは、大学の先輩やアルバイト先の先輩などを指すのであろう。また、「話せているから」と答えたのも女子学生であった。この学生が実際に上手に話せているのかはわからないが、高い意識を持って敬語を使っているのだと推測される。

(13) 今後のことを考えると、敬語は必要だと思いますか。

男子学生は全員「必要」と答えたが、2人の女子学生が「必要ではない」と答えた。

(14) (13) で「必要」と答えた人は、理由を教えてください。

(11) の「敬語を上手に使えるようになりたい理由」と同様に、外見、人としてよく見られたいというような理由は、「印象を良く見せるため」と 1 人の女子学生が答えた。

(11) と同様に、「社会に出る以上、敬語は必要になるから」「社会に出たときに困らなかっため」というような、社会に出て社会人になると必要であると答えたのが、男子学生は 5 人、女子学生は 49 人と多く、社会に出るには敬語が必要であるという意識をもっている学生が多いことがわかった。

「目上の人には敬語を使わないといけないから」「礼儀だから」と、大人として敬語を使うことは常識であると考える男子学生は 2 人、女子学生は 11 人であった。「相手を不快な気持ちにしたくないから」「失礼にならないように」と相手への心遣いが窺える男子学生は

1人、女子学生は8人であった。

「年上の人とうまくやっていくため」「上下関係をうまく保つため」「社会をうまく生き抜くため」など、社会人として、人間関係をうまく保つためには敬語が大事であると捉えていることがわかる。

(15) (13) で「必要ではない」と答えた人は、理由を教えてください。

「敬語はある程度話せたらいいから」と答えたのは、女子学生が1人。難しい使い方や堅苦しい敬語などは特に必要ないということであろう。

(16) 自分の言葉遣いは丁寧だと思いますか、荒っぽいと思いますか。

「どちらでもない」と答えた男子学生が7人、女子学生が48人と多く、「荒っぽい」は、男子学生2人、女子学生37人、「丁寧」は男子学生2人、女子学生3人であった。改めて自分の言葉遣いが丁寧であるのかそうではないのかなど考えたことはないであろう。これまで限られた人と接することが多かったため、また学生であるため、特に言葉遣いの丁寧さなど気に掛けたことはなかったであろう。よって、自分でもよくわからないと思うので、「どちらでもない」という答えが多かったのは納得できる。

言葉遣いが「荒っぽい」のは、男子学生が多いと予想していたが、4割の女子学生が「荒っぽい」と答えた。これは、大学生になったこと、また、近い将来社会人になるという意識が強くあるからこそ、言葉遣いを丁寧にしなければならないという気持ちが働いたのであろう。よって、現在の自身を冷静にみつめ、「荒っぽい」と判断したと推測される。

(17) (16) で「どちらでもない」と答えた人は、理由を教えてください。

「自分ではよくわからないから」と答えた男子学生が1人、女子学生が4人であった。これまでの言語生活の中で、自身の言葉遣いを気に掛ける機会は少なかったと思われる。自分の言葉遣いが丁寧であるのか荒っぽいのか、よくわからないのは当然であろう。「気にしてないから」という理由も同様であろう。

話す相手によって、「丁寧なときと丁寧でないときがある」「人によって使い分けている」という理由から、先生などの年上に対しては丁寧だが、友人に対しては気心が知れているので、気楽にくだけた話し方をしていると推測される。

(18) (16) で「荒っぽい」と答えた人は、理由を教えてください。

「言葉遣いが悪いから」「言葉が乱暴だから」「口調が強いから」のように言葉遣いの悪さを理由とした男子学生が1人、女子学生は21人で自身の言葉遣いの悪さを自覚している。

「感情そのままの言葉を使ってしまうから」「イライラしたら言葉が荒くなるから」「人を傷つけてしまうことがあるから」と、自身の感情の動きによって言葉遣いが悪くなると思っている男子学生は0人、女子学生は4人いた。

「友達に男子がいるから」「男言葉の友達がいるから」と、友人の影響から言葉遣いが荒っぽいと回答した女子学生が2人いた。

(19) (16) で「丁寧」と答えた人は、理由を教えてください。

「年上の人と話すときは敬語だから」「間違った敬語を使わないようにしているから」と敬語=丁寧な言葉遣いと捉えていると推測できる。また、「人が傷つくことは言わないように心掛けている」という理由から、人を傷つけない話し方が丁寧な言葉遣いであると認識していることがわかる。

(20) 言葉遣いで改めたいと思うことはありますか。

「ある」と答えた男子学生は45.5%、女子学生は75%であり、「ない」と答えた男子学生は54.5%、女子学生は25%であった。男子学生は「ない」がわずかに多かったが、女子学生は圧倒的に「ある」と答えた学生が多く、この質問に関しては性差が出た。

(21) (20) で「ある」と答えた人は、理由を教えてください。

「方言が多いから」「方言が汚いと言われるから」と答えた男子学生は1人、女子学生は9人であり、方言を改めたいと考えている。大学生になって、生活範囲が広がることにより、人とのコミュニケーションをとる機会が増え、これまででは方言とは思わずには使っていた言葉が方言であることを知ったり、言葉が他者に通じなかつたことなどの経験をすることで、言葉を改めたいと思ったと推測できる。

「正しい言葉を使えるようになりたい」「敬語がうまく使えないから」と答えた男子学生は1人、女子学生は13人であった。

男子学生ではなく、女子学生の9人が答えた理由に、「言葉遣いが悪いから」「汚い言葉を使ってしまう」「言葉がトゲトゲしている」「きつい言葉を言わないようにしたい」とあり、自身の言葉遣いを客観的に見て、反省していると推測できる。

「相手に失礼のないように気をつけたい」「相手を傷つけない言葉遣いをしたい」「口調をやわらかくしたい」と、相手への心遣いから、言葉遣いを改めたいと思っている。

また、「理解されないときがある」「意味のわからない文を話したりするから」「語彙力をつけたい」と、相手に理解してほしいからこそ、「きれいな言葉を使いたい」「語彙力をつけたい」という理由が出てきたと推測される。

(22) (20) で「ない」と答えた人は、理由を教えてください。

「特に気になるところはないから」「しっかり使っているから」と答えたのはそれぞれ男子学生1人ずつである。「きちんと敬語を使っていると思うから」が女子学生1人で、しっかりとした言葉遣いができているという自覚のある学生が「改めたいところはない」と答えたと推測される。

「どこが間違っているかわからないから」というのは、まだ社会的な言語学習や社会勉強が不足している大学1年生にとっては、正直な理由であろう。

「自分らしくいたいから」というのは、言葉遣いで型にはまりたくない、縛られたくないというような、言葉も自分らしく表現したいという表れであると推測される。

(23) 言葉遣いで人の印象は変わると思いますか。

男子学生、女子学生ともに、全員が「変わると思う」と答えた。(10)の「敬語を上手に使えるようになりたいと思いますか」という質問での理由を述べた(11)で、「相手に失礼な印象を与えたくないから」「第一印象が良くなるから」「丁寧な言葉遣いをしていると品があるように見えるから」とあることからも、学生全員が「言葉遣いで印象が変わる」と思っていることは、納得のできる結果である。

(24) (23)で「思う」と答えた人は、理由を教えてください。

「荒っぽいとこわく見えるから」「言葉遣いが悪いと悪いイメージをもつから」「言葉が汚いと印象が悪くなるから」という理由を答えたのは、すべて女子学生であった。このことから、特に女子学生は、言葉遣いが「荒っぽい」「悪い」「汚い」と、印象が悪くなると思っているようである。

「雑な言葉遣いで相手に悪い印象を与えてしまったり、傷つけてしまい、そこからの関係にも亀裂を入れてしまう可能性があるから」「一つの失言で人から見られる目が変わるから」というように、実体験から学んだと推測される理由もあった。

「言葉遣いが悪いと品がなさそうに見える」「きれいにしている人でも、言葉が汚かったら好印象ではなくなる」「優しい言葉の人は優しく感じる」「言葉の使い方でかわいらしくなる」と、第三者からの見た目、印象があげられている。「話し方でその人の人柄や育ちがわかる」「言葉遣いがきちんとしている人は、他のこともきちんとしているように感じる」「品格が言葉と態度ではかられる」と、言葉遣いが人柄や品格という人格をも表しているととらえている。

若い大学生であっても、品格や人柄を重んじていることがわかった。現代の若者は、何にもとらわれずに、自分らしく、自分の個性を貫き通していると思っていたので、若者から「品格」という言葉が出てきたのは意外な結果であった。

(25) 人とコミュニケーションをとるにあたって、言葉遣いは大切だと思いますか。

「大切」と答えた男子学生は全員、女子学生は97.7%と、ほとんどの学生が「人とコミュニケーションをとるのに、言葉遣いは大切である」と思っている。

(26) (25)で「大切」と答えた人は、理由を教えてください。

一番多かった理由は、「使い方を間違って、相手を傷つけてはいけないから」で男子学生

が 2 人、女子学生が 6 人であり、他にも「相手を嫌な気持ちにさせないため」「失礼にならないように」と相手に対する心遣いからくる理由が多かった。

また、「言葉遣いが荒っぽいと印象が悪くなるから」「言葉遣いでその人の印象が変わるから」「正しい言葉遣いをすれば、良い印象をもってもらえるから」という、人が受ける印象を重く見た理由である。

さらに、言葉遣いによって「見る目が変わるから」「対応が変わるとと思うから」「今後の関わり方が決まるから」と、他者からどう見られるかや他者から受ける反応、対応の違いなど自身の経験から学び得た理由と推測される。

(27) (25) で「大切ではない」と答えた人は、理由を教えてください。

女子学生 1 人が「話すことに壁なんてないと思うから」と答えた。言葉遣いなどを気にせずに、気持ちを素直に相手に伝えることができればよいということであろうか。

## 5、おわりに

本稿では、学生の言葉に関する意識を見てきた。約 74% の学生が、大学生になって言葉遣いに関しては「何も変化がない」「特に意識していない」と答えた。しかし、友人に対しては、約 51% の学生が「相手を傷つけない」ように、「明るくする」ようになど、「同じ立場の相手に対する配慮」<sup>3)</sup> や「相手の気持ちや状況に対する配慮」<sup>4)</sup> をしながら話していることがわかった。さらに、先生や目上の人に対しては、約 94% の学生が「敬語を使う」「失礼にならないように」など、「異なる立場の相手に対する配慮」<sup>5)</sup> をしながら話していることがわかった。学生の多くは、特に自分で意識することなく、相手に応じた配慮をしながら言語表現をしていることがわかった。

「人とコミュニケーションをとるには言葉遣いが大切」であると 98% の学生が答えた。さらに、「正しい言葉を使えるようになりたい」「言葉遣いが悪いから」「きれいな言葉を使いたい」などという理由から、約 72% の学生が「言葉遣いで改めたいことがある」と答えた。

また、学生の全員が「言葉遣いで人の印象が変わる」と答えた。現代の若者は、「自分がよければ、周りの目など気にしない」という主義であると思っていた。しかし、この質問には、言葉や話し方でその人の「品格が図られる」、「人柄や育ちがわかる」という理由や、「言葉遣いによって第一印象が変わる」「丁寧な言葉を使う人は印象がよい」というのもあった。このことから、環境や人間性、さらに他者からの目、評価を意識しているといえよう。

約 93% の学生が「敬語を上手に使えるようになりたい」と答えた。「社会に出たら必要だから」という社会生活を見据えた理由が多くあった。本学は短期大学であるため、調査協力者は 1 年生といえども、すぐに実社会へと出ていかなければならないので、現代社会において敬語は必要不可欠であるという認識が強いのであろう。

本稿では、本学学生の言葉に関する意識を明らかにすることを目的とした。今回の調査の結果から、学生の言葉に関する意識は高いと感じた。学生たちは自分自身の言葉遣いに関して、何も変化がないと思っているが、話す相手によって配慮しながら話していることがわかった。社会人になつたら、また、人とコミュニケーションをとるには、言葉遣いや敬語が大切であるということも認識している。しかし、社会生活を送るうえでの言葉としては、十分な習得ができておらず、使用することへの不安や戸惑いがあることもわかった。このような気持ちに答えるためにも、これらの実態を踏まえて、短期大学では、「言葉は個々人のものであると同時に、社会全体のものもある。一人一人が人格を形成し、より良い人間関係を築き、より良い社会生活を営むためには、相手や場面に配慮した敬意表現の運用能力を身に付け、それを適切に用いていくことが大切である。」<sup>6)</sup>ことを熟慮し、基本的な知識と実践的な学習とを併せていくことが必要であると考える。

### 引用文献

- 1) 文部科学省 (2000) 「現代社会における敬意表現（答申）（抄）」「国語審議会答申」 p14
- 2) 菅井郁 (2009) 「自由が丘産能短期大学生の敬語意識—アンケート調査結果からの考察—」自由が丘産能短期大学紀要 42 号 p54
- 3) 文部科学省 (2000) 「現代社会における敬意表現（答申）（抄）」「国語審議会答申」 p8
- 4) 文部科学省 (2000) 「現代社会における敬意表現（答申）（抄）」「国語審議会答申」 p10
- 5) 文部科学省 (2000) 「現代社会における敬意表現（答申）（抄）」「国語審議会答申」 p9
- 6) 文部科学省 (2000) 「現代社会における敬意表現（答申）（抄）」「国語審議会答申」 p3

### 参考文献

- 1) 笠井昇 (2013) 「日本語の表現—敬語の指導をめぐって—」太成学院大学紀要第 15 号
- 2) 蒲谷宏 (2007) 『大人の敬語コミュニケーション』ちくま新書
- 3) 蒲谷宏編 (2010) 『日本語ライブラリー 敬語コミュニケーション』朝倉書店
- 4) 国立国語研究所 (2006) 『言語行動における「配慮」の諸相』くろしお出版
- 5) 菅井郁 (2009) 「自由が丘産能短期大学生の敬語意識—アンケート調査結果からの考察—」自由が丘産能短期大学紀要 42 号
- 6) 廣兼孝信 高永茂 (1994) 「敬語行動の規定因に関する研究（II）」広島文化女子短期大学紀要 27 号
- 7) 文部科学省 (2000) 「現代社会における敬意表現（答申）（抄）」「国語審議会答申」